

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	キネティック・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.044	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

番

研磨剤

**比較対照ボール：キネティック**

フレアーの幅  インチ

表面加工

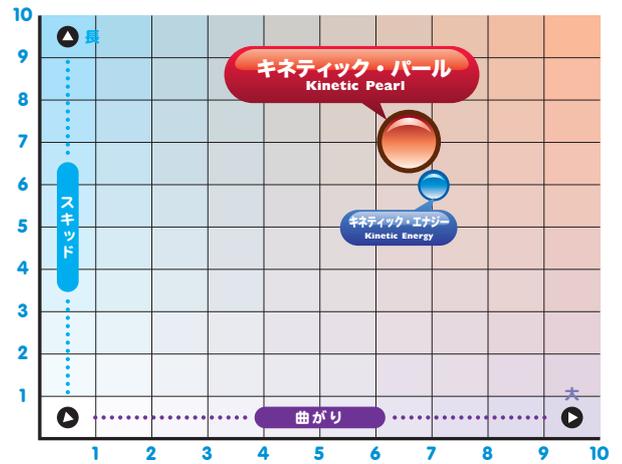
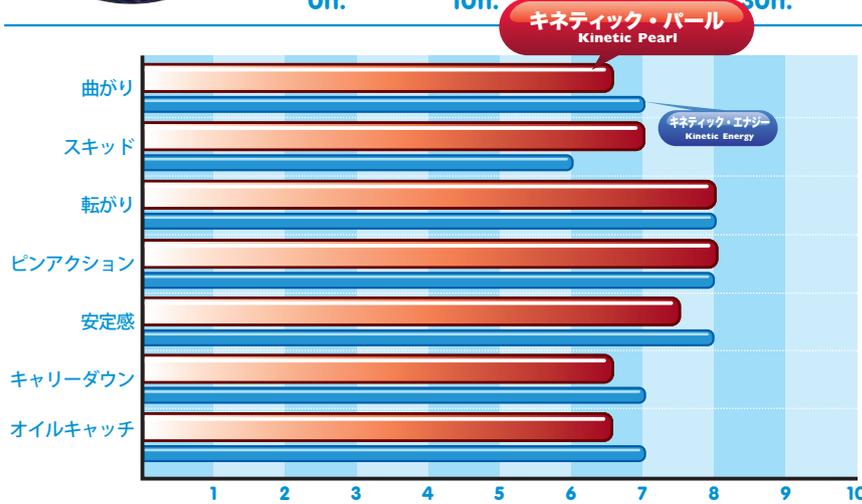
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

番

研磨剤



### ボールの評価

昨年8月に発売された初代キネティックは、走り感と柔らかく切れ込む独特のリアクションで多くの皆様に愛され、大ヒット商品になりました。

今回トラック社は初代キネティックとキネティックエナジーの中間にあたるキネティックパールをカタログボールとして発売してきました。パール素材でありながら曲がり幅は初代キネティックより大きく、オイルに対しての強さも増えています。この3つのボールを表にし、分類すると(スキッド・オイルキャッチ・曲がり)は10段階)

	Stand	Arrows	Break Point	スキッド力	オイルチャッチ	曲がり
Kinetic	17	10	7	7.5	6	6
Kinetic Pearl	20	13	8	7	6.5	6.5
Kinetic Energy	22	14	8	6	7	7

以上のように分類できます。

バックエンドリアクションはどちらかと言うとキネティックエナジーに似ていて、ややシャープ感を伴うリアクション特性です。初代キネティックを使用し、最後の一曲がりが足りないという方、もしくはキネティックの走り感はそのままでバックエンドのシャープさが欲しい方にはこのキネティックパールをオススメします。

### 特記事項

**手前の走りを重視し、バックエンドリアクションにシャープ感を持たせたボール。ミディアムコンディションから以下を中心に思う存分このパフォーマンスを引き出してください。**